

15 誰もがいきいきと輝く地域社会実現プロジェクト

概要

年齢や性別、障害の有無にかかわらず、あらゆる人々の人権が尊重され、県民一人ひとりが自分らしく活躍することができるよう、様々な活動の機会づくりや気運醸成などの取組を進め、誰もがいきいきと輝く地域社会を実現する

重点策

- 53 県民活動の活発化による地域の絆づくりの推進
- 54 女性が輝く地域社会の実現
- 55 高齢者・障害者等が活躍する地域社会の実現
- 56 人権等に関する取組の推進
- 57 豊かな心身を育む文化・スポーツの振興

(1) 成果指標の状況・県民実感度調査の結果

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標			
	★★★★★ (目標を達成)					
	★★★★ (計画を上回る)	2	民間企業における障害者実雇用率 等			
	★★★ (ほぼ計画どおり)	7	「あいかさねっと」等を通じたボランティア活動マッチング数 等			
	★★ (計画を下回る)	1	若年層の参加割合が3割以上を占める県民活動団体の割合			
	★ (計画から大幅に遅れ)	1	若年あいサポーターの養成数 (累計)			
— (未公表)	1	プロボノワーカーバンクの登録者数 (累計)				
県民実感度調査 (%)	調査項目			そう思う	どちらともいえない	そう思わない
	県民活動や、スポーツ・文化活動、社会貢献活動などで誰もが活躍できる社会づくりが進んでいる			35.8	37.0	27.2
	一人ひとりの人権が尊重されている			42.0	40.7	17.3
	男女共同参画・ジェンダー平等の実現に向けた取組が進んでいる			27.2	38.3	34.5

(2) 主な取組と成果

主な取組と成果

- 県民活動アンバサダー（山口ゆめ花博で活躍した方）と連携した出前講座の実施や、大学生を対象とした県民活動団体の活動説明会の開催により、県民活動の裾野を拡大。また、財政・運営基盤強化セミナーの開催やプロボノの活用による団体の基盤強化を支援。さらに、「あいかさねっと」の利用促進等により、団体とボランティアの協働を推進。

ボランティア活動マッチング数 (累計) 1,292 人 (R3年度) → 1,610 人 (R4年度)

- 「やまぐち女性の活躍推進事業者宣言制度」を通じた企業の自主的な取組の促進や、「女性管理職アドバイザー制度」による女性社員への相談支援などに取り組んだほか、産学公の団体代表者で構成する「やまぐち女性活躍応援団」による、市町や大学と連携した「地域シンポジウム」の開催を通じて、地域から、女性活躍の取組を普及・拡大。

やまぐち女性の活躍推進事業者数 (累計) 205 事業者 (R3年度) → 238 事業者 (R4年度)

- 高齢者が地域における日常生活支援の担い手として活躍できるよう、地域支援事業を実施する市町と老人クラブとのマッチング会議を開催するなど、高齢者の多様で主体的な社会参画を

促進。

マッチング会議への参加老人クラブ数（累計） 33 クラブ（R3年度）→85 クラブ（R4年度）

- 障害のある子どもとない子どもの交流イベントを通じた幼少期からの障害理解を促進。
あいサポらんど参加者数 1 回開催・25 名（R3 年度）→2 回開催・59 名（R4 年度）
- 固定的な性別役割分担意識の改革を図り、さらなる男性の家事・育児等への参画を促進するため、**男性の家事・育児に関する啓発動画コンテスト**を開催するとともに、家事に対する負担感を軽減するため、カジダン講座の成果を盛り込んだ**家事ハウツー集**（第2弾）を作成・配布。
- 県民誰もが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくりに向け、市町やスポーツ関係団体と連携し、気軽に参加・体験・観戦できるスポーツイベントの開催支援や、スポーツ推進の拠点となる総合型地域スポーツクラブを普及・育成

県立スポーツ施設の年間利用者数 8 1 8 千人（R3 年度）→9 9 9 千人（R4 年度）

総合型地域スポーツクラブ（累計 設立準備中を含む） 5 6 クラブ（R3 年度）→5 2 クラブ（R4 年度）

- 「庵野秀明展」など美術館での企画展の開催や、県内外の伝統芸能団体等が一堂に会する「地域伝統芸能全国大会」の実施、A I を活用した地域伝統芸能体験コンテンツの制作、文化人材バンクを活用した活躍の場の創出・拡充等により、文化芸術に親しむ環境づくりの取組を推進。

県立美術館の入館者数 13.5 万人(R3 年度)→15.4 万人(R4 年度)

文化人材バンク登録者の発表機会の創出件数 6 件（R3 年度）→10 件（R4 年度）

(3) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

- 県民活動の活発化による地域の絆づくりを推進するため、山口きらら博記念公園でのイベントの開催や、高校・大学等と連携したボランティア体験会等の開催により、県民活動への理解と参加の促進を図るとともに、プロボノによる県民活動団体の基盤強化や、団体が多様な主体と協働できる体制を整備する必要がある。
- 事業所における女性管理職の割合やポジティブ・アクションに取り組む事業所の割合は、増加傾向にあるものの伸び悩んでいることから、「やまぐち女性の活躍推進事業者宣言制度」を通じた企業の自主的な取組の促進や、「女性管理職アドバイザー制度」による女性社員への相談支援を充実させるとともに、「やまぐち女性活躍応援団」による、市町や大学と連携した「地域シンポジウム」の開催を通じて、地域から女性活躍の取組をより一層普及・拡大させる必要がある。
- 高齢者が地域を支える担い手としての活動に積極的に参加できる環境を整備することにより、高齢者が活躍できる地域社会づくりをさらに推進することが必要である。
- 未来を担う若い世代の障害理解が進むよう、児童向け研修教材等を活用した小学校授業でのあいさポーター研修の積極的な実施の推進が必要である。
- 固定的な性別役割分担意識の見直しや人権尊重を基盤とした男女平等感の形成などが大きな課題となっており、男女共同参画・ジェンダー平等の実現に向けた分かりやすい広報や意識啓

発、男性の家事・育児参画の促進に取り組む必要がある。

- コロナ禍で落ち込んだ県民のスポーツ活動の回復や、県民の多様なスポーツニーズに対応するため、県民誰もがスポーツに親しむ場づくりや人材の確保・育成など、地域のスポーツ環境の充実強化が必要である。
- コロナ禍で落ち込んだ文化芸術活動の早期回復を図り、県民誰もが文化芸術を鑑賞、参加及び創造できる環境づくりを推進するとともに、今後の地域文化を支える人材の育成や活動支援を図ることが必要である。
- 公立中学校の部活動について、少子化の中でも、将来にわたり本県の子どもたちがスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保していくため、学校部活動の地域連携・地域移行に向けた取組を推進する必要がある。

(参考) 令和5年度の主な新規・拡充取組

新 きららでキラリ！県民活動促進事業（再掲）

県民一人ひとりがキラリと輝き活躍できるよう、山口きらら博記念公園でのイベントの開催等を通じて、県民活動の魅力発信や参加機会を提供することにより、団体の活動を活発化させるとともに、県民活動に参加できる環境づくりを促進。

新 未来へつなぐ！若者の県民活動促進事業

団体活動説明会やボランティア体験会の開催など、県民活動団体や高校・大学等と連携して、未来の県民活動を支える人材を育成し、裾野の拡大を推進。

新 プロボノによる県民活動団体の基盤強化事業

県民活動団体が年間を通じてプロボノを利用できる体制を整備し、プロボノの活用により、団体の人材育成・確保及び財政基盤の強化を推進。

新 協働ネットワーク強化による県民活動促進事業

県民活動団体と多様な主体の協働による地域課題解決に向けた取組を推進するとともに、県民活動を通じた人と人とのつながりによる地域の絆づくりを推進。

拡 地域支援担い手育成加速化事業

マッチング会議や、日常生活支援の担い手の中心となって活動する「活動推進リーダー」を養成する研修の開催回数等を拡大して取り組む。

新 やまぐち部活動改革推進事業

希望する市町において、部活動の地域移行に向けた実証事業を実施するとともに、指導者等を提供できる人材バンクの設置や、指導者研修会の開催など地域移行体制の構築に対する支援を行う。

新 山口きらら文化芸術体験交流事業

次代の地域文化の担い手となる若者が文化芸術に親しむ機会を創出するため、県内の文化芸術団体等と連携した交流・体験イベントを開催。